

さとうきび通信

平成24年：春

生和糖業(株)喜界工場

発行・編集：業務部原料係

発行日：平成24年4月4日



	2月				3月			
	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)	最高気温	最低気温	平均気温	雨量(mm)
今年	18.3	13.0	15.8	106.0	20.5	14.5	17.5	107.0
平年	18.8	13.4	16.3	104.5	20.0	14.5	17.3	149.0
平年との差	-0.5	-0.4	-0.5	1.5	0.5	0.0	0.2	-42.0

ごあいさつ

生和糖業株式会社 喜界工場
工場長 田中 康之

皆さん、こんにちは。

今期の操業も3月30日に終了しました。ご存知のように今期はキビの作柄が悪く、工場では原料処理量を67,000トンと見込み、年明けの1月10日より操業を開始しました。しかし搬入されてくるキビが予想以上に悪く、2月初めには更に61,000トンと下方修正しましたが、最終的には57,632トンと昨年(87,219トン)より約3万トンも少なく、率にして昨年の66%という残念な結果になりました。この数量は、昭和34年操業開始当初の黒糖製造時を除いて史上最低の数量です。

この大減産の要因は春先の異常低温(因みに3月~4月は平年気温より2度低い)、5月末の台風による塩害、夏場の早魃(8月は平年雨量160mmに対してわずか17mm)と悪い気象条件が重なったことに加え、メイチュウによる被害が予想以上に大きかったことです。

このキビ量の減少は、生産農家のもとより会社、ハーベスター事業者、運送会社、農協などこの島でさとうきびに関わっている全ての関係者に大きなダメージを与えると共に、町の経済にも大きな影響を与えています。

天候については、私たちの力の及ぶ処ではありませんが、畑作り、キビ作り、製品作りは私たちの仕事であり努力次第です。今年度の被害を来期に引きずらないよう関係者全員で原点に帰って**キビの生産量回復**に向けて頑張りましょう！！



《 搬入終了式 》

収穫面積・生産量の推移

作型 各年	夏植			秋植			春植			株出			合計		
	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量	面積	単収	生産量
	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t	(a)	(kg/10a)	t
今期	36,609	5,462	19,996	9,435	4,908	4,631	14,530	4,446	6,460	65,435	4,057	26,545	126,009	4,573	57,632
H22/23期	39,567	8,432	33,362	8,123	8,318	6,757	12,855	6,387	8,210	62,360	6,236	38,890	122,905	7,096	87,219
前期との差	-2,958	-2,970	-13,366	1,312	-3,410	-2,126	1,675	-1,941	-1,750	3,075	-2,179	-12,345	3,104	-2,523	-29,587
H21/22期	39,238	8,647	33,928	12,421	7,306	9,075	11,891	5,159	6,135	61,069	5,302	32,377	124,619	6,541	81,515

※ 上記の通り史上最低の単収、生産量を記録しました。

さとうきびの買入糖度・買入価格・トラッシュ率・工場歩留の推移

項目 各年	買入糖度(%)	糖度帯(%)			平均買入価格(交付金込)	対前年比(%)	トラッシュ率(%)	工場歩留(%)
		基準以下	基準内	基準以上				
今期	13.93	21.1	49.0	29.9	21,613	94.2	12.48	見込) 11.90
H22/23期	14.34	11.5	37.7	50.0	22,954	103.7	8.64	12.53
H21/22期	14.47	7.5	38.2	54.3	22,126	100.2	9.41	12.70

※ 害虫被害も加わり糖度は基準内及び基準以下の比率が増加し、又買入価格も低下しました。

各社の製糖状況

項目	生和糖業	生産量				買入糖度(度)
		今期(t)	H22/23期(t)	増減量(t)	減収率(%)	
喜界島	生和糖業	57,632	87,219	-29,587	33.9	13.93
種子島	新光糖業	操業中	197,633	—	—	—
奄美	富国製糖	16,996	29,898	-12,902	43.2	13.73
徳之島	南西糖業	142,086	218,910	-76,824	35.1	13.34
沖永良部	南栄糖業	50,365	79,552	-29,187	36.7	13.42
与論	与論島製糖	17,752	28,597	-10,845	37.9	13.16



※ 各社共に干ばつやメイチュウ被害で、前年より大幅な減収になりました。

緊急対策本部設置 される！！

3月5日、町、あまみ農協喜界事業本部、生和糖業(株)、鹿児島県、担い手農業者連絡協議会、JAさとうきび部会、ハーベスタ連絡協議会、JA協力員、開発組合等の代表者が集まり、町長を本部長とする「さとうきび緊急生産振興対策本部」が設置されました。生産者及び各関係者が連携協力してさとうきびの生産回復にむけて取り組むことになりました。

国の生産回復 に向けての 予算7億円！！

国の24年度予算として今期の鹿児島県、沖縄県のさとうきびの害虫被害に対し、総額7億円の予算が決定しました。この予算の要旨について、現在、緊急生産振興対策本部において本町のさとうきびの害虫防除に向けて具体的な検討が進められています。

春植に奨励金を支給！！

喜界町さとうきび生産対策協議会は、今期の大減産からの早期の生産回復を図る措置として、今春の春植作付に10a当たり1,000円の奨励金を支給します。
ただし、来期収穫出来る春植圃場に限りです。

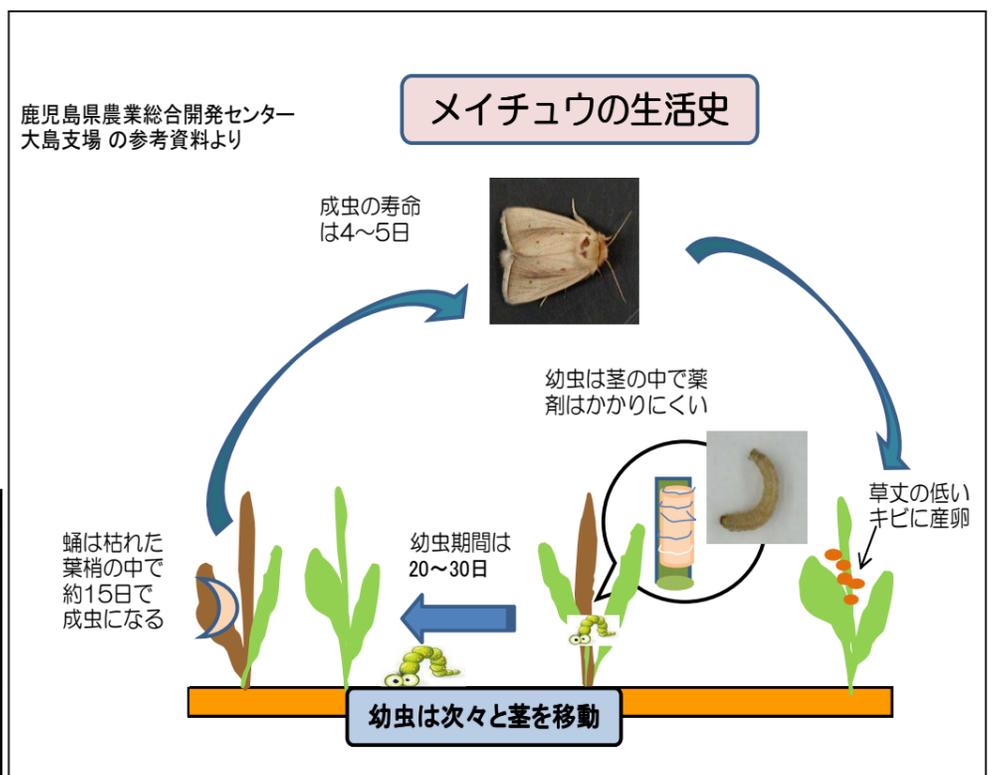
一芽苗の無償配布！！

喜界町さとうきび生産対策協議会は、欠株補植用として、一芽苗を無償で配布します。数量に限りがあります。詳細は生和糖業(株)原料係までお問い合わせ下さい。
生和糖業(株) 原料係 ☎ (65-3133) 申込期限 4月13日(金)

メイチュウ類防除対策

- 1、耕耘をしっかりと行う。(最低4回)
- 2、雑草防除
イネ科雑草、周辺の除草を徹底する。
- 3、苗の防除
苗を一晩水につける。
- 4、農薬による防除

農薬名	使用時期	使用回数	使用方法
オンコルOK 粒剤	生育期 (分けつ期まで)	1回	株元散布 又は 株元土壌混和
アトバンテージS 粒剤	植付時 培土時	1回 1回	植溝処理+土壌混和 株元処理+土壌混和
プリンスバイト	植付時 又は 培土時	1回	植溝処理+土壌混和 又は 株元処理+土壌混和



メイチュウ被害圃場



(喜界島 東部地区の被害畑)

新植のメイチュウ被害圃場が多発しています。
圃場を定期的に巡回し畑の状況をよく観察して
被害を食い止めましょう！

開発組合 からのお知らせ

ハカマ、フィルターケーキ、EM菌
の混ざった **有機物資材** を販売します。

1台(3ト車) 4,500円！！

(運搬・散布 込み)

〔 申込受付 5月15日より
散布開始 5月下旬予定 〕

問合せ先 **喜界農業開発組合**
☎ (65-4951)

